

静岡市立清水小河内小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年6月8日（火）

「歴史の授業にとっても役立ったよ。」



興津川の中流域にあり、学校周辺は緑に囲まれた自然豊かな小学校でした。登呂遺跡に行って来たそうですが、体験があまりできなかったので出前授業を依頼したそうです。縄文・弥生時代に入ったところなので、教科書や資料集で学んだことの理解が深まって、とてもよかったようです。社会科の授業が更に楽しいものになることを願っています。

◎土器の分類体験

縄文・弥生・古墳時代の土器の違い

についての話を聞いた後、実際に静岡県内で出土した土器片を手に取り、重さや質感、模様などをよく比べ、悩みながら分類していました。縄文土器と弥生土器の違いはだいたいわかるけど、弥生土器と須恵器の違いには苦勞していました。



◎石器の試し切り体験

本物の打製石器や磨製石器を触って、質感や表面の肌触り

の違いを確かめることで、教科書や資料集で見た石器について更に細かく知ることができました。黒曜石が貴重な石であることを、地図上で神津島や長野県の和田峠の位置を確かめ納得していました。黒曜石を使って野菜を切り、とてもよく切れることを体験できました。



◎火起こし体験



よく晴れたこともあり、運動場の木陰で火起こしをしました。涼しい中でたっぷり時間を取り、一人一人が弾み車をリズムよく回すことができるようになり、火種を作ることができました。火種を丁寧に火口にのせ、「フーフータイム」も根気よくやったことで、火を起こすことができ、とっても喜んでいました。